

# 大瀬戸地区小中高連絡協議会

この会は、平成 29 年度に大瀬戸地区の大瀬戸小学校、雪浦小学校、大瀬戸中学校、西彼杵高等学校が『校種を超えて、一緒に子どもたちの成長を育んでいこう』ということを目指して発足した会で 3 年目を迎えました。

今年度も年間 3 回の会合と講演会開催 1 回、

校内研修 1 回を実施しました。

今回は、校内研修の内容を紹介します。



## 校内研修『校種を超えた連携・・・地域の子どものために』

2 月 18 日（火）に大瀬戸中学校の図書室において校内研修を開催しました。

『校種を超えた連携・・・地域の子どものために』をテーマに大瀬戸地区に学ぶ児童生徒のより良い成長のために、小・中・高の教職員、PTA 会長・副会長、総勢 48 人が一堂に会し、問題点や課題、連携のあり方等について討議を行いました。

討議では、各テーマに分かれ、それぞれの立場で、違う目線、違う形、そして新たな視点でいろいろな方々の意見が飛び交いました。



	討議の柱
1	学習指導 I（AL関係）
2	学習指導 II（支援関係）
3	地域との連携
4	生徒指導
5	部活動
6	働き方改革（心・サービス）
7	心の教育（道徳・倫理）

討議終了後、それぞれのグループで話し合われた内容が発表され、共有することができました。今回の内容を踏まえて各学校で活動し、次年度 1 学期中に再度討議の場を設け 1 年間の活動を充実させていくこととなりました。



### 【討議内容抜粋】（メモとして記載）

#### <生徒指導>（メディアに関して）

- ・小学校高学年段階での初期指導が必要
- ・使い方に関する情報の発信
- ・「何がダメなのか」「何が良いのか」の指導と情報発信が必要
- ・小中高連携協議会を早い時期に開催して情報共有し対策を立てるなど早めに手を打ちたい
- ・講演会に来てほしい、聞いてほしい保護者が来ない

#### <学習指導>

- ・達成感、学習の楽しさが学習習慣につながる  
→楽しさが伝わる授業
- ・家庭学習の習慣、自習する力  
→家庭の協力
- ・何のために勉強するのか

#### <地域との連携>

- ・ボランティア活動で関わる機会をつくる
- ・個別に部活動などで高校生と関わる時間があると刺激になると思う